

【2016年度冬学期如水ゼミ受講生の声】

一橋大学 大学教育研究開発センター

社会人と直にお話できるというのはとても良い。様々な部署の話が聞いて良かった。(陸上運輸)

初回授業で業界説明をしてくださり、それがとてもわかり易かった。毎回授業毎にテーマが決まっていた内容も濃く、業界知識が深まって良かった。(生命保険)

エネルギーということで、理系的な要素に触れられたのが良かった。懇親会も多く、本音が聞いたのが良かった。(エネルギー)

最終レポート課題が難しい。自分で新しいものを創造することは難しいが、とても良い機会をいただいていると思っている。(物流)

講師陣が普段どうしているのかといった事をパネルディスカッション的にできるのが良かった。2時間連続で、4限の内容も、より理解が深まるので良かった。企業によっては、若手の方の入社理由や、仕事内容といった具体的な話が聞いて良かった。(商社)

全部学外だったが、座学よりも商業施設を見て知る事がとても良かった。(不動産)

総合重工業ならではの毎回の題材(航空機、船舶等)が異なって面白かった。造っている方々のみならず、経理の方の話も聞くことができ、全体像が見えて良かった。グループワーク(営業の交渉はどうやるのか等)が、業界に関わらず、今後とても役立つと感じた。(総合重工業)

今期は一橋の30秒のCMを作るというコンセプトのもとに各講師が連携して授業を行っていただけたのが良かった。学生たちは、自身で撮影から編集まで行ったが、講師の方々が学生の自主性を尊重してくださり、カメラワーク等技術的なアドバイスもいただけた。(マスコミ)

広告代理店のビジネスモデル、そしてそこで働く人たちの思考プロセスについて理解が深まってよかった。(広告)

外交の現場を身近に感じられた。普段は会えないような人に会えた。外務省の仕事だけでなく、国際情勢全般について考えるきっかけになった。(国際関係)